

平成17年

4月

NEWS LETTER ニュースレター

発行日：平成17年4月1日

発行：三鷹市市民協働センター（三鷹市生活環境部コミュニティ文化室）

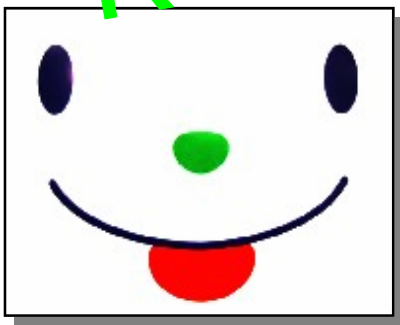
〒181-0013 東京都三鷹市下連雀4-17-23

TEL 0422-46-0048 FAX 0422-46-0148

Eメール：kyoudou@collabo-mitaka.jp

ホームページ：http://www.collabo-mitaka.jp

PRのコツ



パート

今回は、チラシの作り方！

デザイナーが教える『市民活動のためのパッと目を引くチラシの作り方』

暮らしやすい社会を築くための活動など、課題解決型の市民活動にとって広報PRは欠かせないツールのひとつです。多くの方に親しまれ、仲間作り、人集めなどに役立つチラシの作り方のコツを学ぶ事により市民活動が活発になることを目的に開催します。

平成17年4月10日(日)

平成17年4月23日(土)

どちらか1日(募集人数:各日60人)

午後1時30分～4時30分

両日とも同じ内容ですのでご都合のよい日を1日お選びください。

ポスターの材料は用意しますので

受講料 無料

お気軽にご参加ください！

目次	
「PRのコツ」パート	1
懇談会を開催しました	2
ドキドキワクワク元気印市民活動 マネジメント講座を開催しました	3
NPO設立相談窓口を開設します	4
三鷹市市民協働センターの運営って どうなっているの？	4

会場

三鷹市市民協働センター 第1会議室

講師

田中誠司氏

NPO法人 コミュニティデザインネット理事長
有限会社CPUデザイン有限会社代表

【対象者】 市民活動実践者、市民活動をはじめようとしている方及び希望者

【募集人数】 60人(先着順)

【参加申し込み】 メール・FAX・電話で市民協働センターまで
申し込みください



懇談会を開催しました！

当センターご利用の皆様からセンターへの要望や改善点などのご意見をいただくため、市民協働センター登録団体の、初の懇談会を行いました。平成17年3月17日(木)、3月18日(金)の2日間開催し、両日あわせて28団体、32の方が出席して下さいました。

協働センターへの意見・要望

施設面

- ・小部屋がもっと欲しい
- ・コピー用紙を売って欲しい
- ・第二会議室の机を整備して欲しい



情報交流

- ・社会教育会館やボランティアセンターなどとの情報交換をしては？
- ・市内の市民活動全体が分かるようなものを作って欲しい

事務局機能

- ・協働センターに、利用団体の事務局機能を担って欲しい
- ・登録団体の本拠地として活用したい

認知度・PR

- ・協働センターの認知度が低いのでは？
- ・協働センターが何をしているのか、分かりにくい
- ・PR不足では？

- ・印刷機があって便利。
- ・コピー料(白黒10円、カラー40円)が安い。
- ・事務職員に印刷方法を教えてもらった。
- ・作業台があるので助かる。
- ・紙折り機を無料で使用できるので嬉しい。

協働センターへの感想



- ・レターケースやロッカーが使えるのがうれしい。
- ・無料でミーティングルームが使えるのがありがたい。
- ・ミーティングルームを使用するのに申請書が要らないのですぐ使える。
- ・無料の部屋がもっと欲しい

今後の協働センターに望む事

- ・市の出先機関ではなく、市をリードして欲しい
- ・協働センターの施設の中にとどまらず、市全域において役割を果たして欲しい
- ・テーマごとの集まりをセンターで主催して欲しい(例えば歴史に関する団体、など)

今回いただいた利用者の方のご意見・ご要望は企画運営委員会に報告し、今後の計画立案などに反映していくことになります。貴重なお時間とご意見をありがとうございました。センターではいつでもご意見やご要望をお待ちしております。

協働センターの企画運営委員会の皆さんが司会進行を務めていただきました。ありがとうございました。



ドキドキワクワク元気印市民活動

マネジメント講座

開催しました!

平成17年3月9日(水)「行き詰まりを解消するために」、3月14日(月)「まとまらない意見をまとめるために」というテーマで2日間にわたりマネジメント講座を行いました。ここでは1回目の様子をお伝えします。



真剣に聞き入る参加者のみなさん



会場からは、「ミーティングする時間が合わない」「人が集まらない」「メンバーが固定化してしまっている」などの悩みが出ました。そこで、山路講師から解決のための3つのキーワードを教えてくださいました。



自分の団体が抱える悩みってなんだろう

問題解決3つのキーワード

誰かに頼らない

市民活動は自分の為に、自分でできることをやっていくことが大切。誰かの為にやっている、誰かをお願いされてやっている、という意識があると荷が重くなり、続かなくなる。

目標を具体的に決めて共有する

遠くを見据えた目標、イメージ、目指すところを具体的に共有することが重要。1人1人持っているイメージは違うので、初期の段階でイメージを共有しないと、時間が経つと修復できない溝ができてしまう。

目標に至るまでの方法にこだわらない

これじゃなきゃいけない、こんなやり方はだめだとこだわらない。やる気がある人に、その人のやり方でやってもらうという姿勢が、新しく入った人を喜んで受け入れる雰囲気につながる。



講師：山路清貴氏

山路商事株式会社 都市・建築設計室長、早稲田大学講師、建築家、都市デザイナー

著書に「まとまらない意見をまとめる合意形成の技術」(西東社)がある。三鷹台まちづくり協議会のアドバイザーでもある。

市民協働センターでは今後もセミナーなどを企画しています。「こんな講座を受けたい」「こんな先生に話を聞きたい」などのご要望がありましたらセンターまでご連絡ください。

NPO設立相談窓口開設します

相談料 **無料**

三鷹市市民協働センターでは、4月6日(水)から**毎日**NPOの設立相談窓口を開設します。
相談員は協働センター職員です。

ガイドブック差し上げます！

NPO法人を設立したいと思っている皆さんに、設立までのスケジュールや設立に必要な書類、設立全般の相談をお受けいたします。

また、申請書の書式を含むガイドブックを差し上げます。

受付時間

毎日

AM9:00 ~ PM4:00

休館日: 毎週火曜日

(祝日の場合は直近の平日)

事前にお電話下さい。



NPO設立相談窓口

三鷹市市民協働センターの運営ってどうなっているの?!

三鷹市市民協働センターの運営方針、事業方針、具体的な事業の企画・提案などをはじめとする運営に関することは、企画運営委員会によって調査研究を経て決定しています。企画運営委員会は学識経験者1人、住民協議会1人、町会1人、社会福祉協議会1人、関係団体5人、公募の非営利活動団体5人、公募市民9人、行政職員2人の計25人で構成されています。

企画運営委員会 委員長・副委員長のみなさん



新津委員長



伊東副委員長



正満副委員長



米川副委員長

平成17年度は企画部会、事業部会、広報部会の3部会に分かれて調査研究を行なう予定です。『協働運営』、『協働推進ガイドライン作成』の調査研究が平成17年度の新しい課題になります。これまでの企画運営委員会の会議概要は当センターホームページにて随時掲載していますので是非ご覧下さい。

【編集後記】 (Editor's Note)

今回は初めて利用者懇談会を開催しました。2ページに書いてあるように、実に様々な意見をいただきました。その懇談会の席で私たちスタッフの接客対応をほめていただいたことがとてもうれしかったです。しかしそれに甘んじることなく、民間の会社には負けないサービス精神を目指してがんばります！どうぞよろしくお願い致します。(編集部)